

◎教育委員会における保育所及び小中学校適正規模・適正配置に係る意見のポイント

区分	実施計画（案）		教育委員会意見
保育所	佐喜浜保育所	当面の間、統合しません	反対意見なし
	大谷保育所	当面の間、統合しません	
	羽根昭和保育所	当面の間、統合しません	
		高台移転を行う場合は、中学校の統合後に、現在の羽根中学校の跡地に移転を検討します	
小学校	佐喜浜小学校	現在地に存続します	反対意見なし
	室戸小学校	現在地に存続します	
	元小学校	敷地は予想水位が3m～5m、南側は5m～10m、児童や教職員の安全確保が難しく、避難経路の水没なども心配されます	
		校舎北側の斜面は土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）に指定されています	
		長期に渡って学校の再開が困難となることが予想されます	
		令和7年度からの室戸小学校への統合を検討します	
	吉良川小学校	現在地に存続します	
	羽根小学校	敷地は予想水位が2m～3m、周辺の地域は3m～5mであり、児童や教職員の安全が確保が難しく、避難経路の水没なども心配されます	
長期に渡って学校の再開が困難となることが予想されます			
中学校統合後に羽根中学校の跡地に高台移転します			

		統廃合の主たる理由			
区分	実施計画（案）		教育委員会意見のポイント		
			防災の観点	適正規模の観点	地域の意見を踏まえた観点
中学校	佐喜浜中学校	学級数や教職員数の減少による教育課題により、学校運営や生徒に与える影響が懸念されます	○災害発生時の対応については、室戸中学校、吉良川中学校に比べ対応が取りやすい立地状況にある	○生徒数の減少が今後も見込まれ、将来的に統合は避けられない。 ○複式学級は避けるべき。	○地域の方の意見も分かるが、これまでに議論を重ねてきており、時間もたっていることから、今、決める時期にきている。
		<b>統合中学校に統合します</b>			
	室戸中学校	敷地は予想水位が5 m～10 m、避難経路の水没なども心配され、児童生徒や教職員の安全確保に課題があります	○学校周辺や避難路を含む地域が非常に厳しい環境に置かれており、生徒や教職員の安全確保に課題があり、現在地に残すことは難しい。	○特に意見なし	○特に意見なし
		長期に渡って学校の再開が困難となります			
		<b>統合中学校に統合します</b>			
	吉良川中学校	敷地は予想水位が3 m～5 m、海岸線との間の地域は5 m～10 mであり、避難経路の水没なども心配され、生徒や教職員の安全確保に課題があります	○学校周辺や避難路を含む地域が非常に厳しい環境に置かれており、生徒や教職員の安全確保に課題があり、現在地に残すことは難しい。	○生徒数の減少が今後も見込まれ、将来的に統合は避けられない。 ○複式学級は避けるべき。	○統合に反対の意見が多いが、最終的に統合に向けた意見も一部出されている状況にある。
		避難場所としている校舎北側の斜面は、土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）に指定されています			
		長期に渡って学校の再開が困難となります			
		学級数や教職員数の減少による教育課題により、学校運営や生徒に与える影響が懸念されます			
		<b>統合中学校に統合します</b>			
	羽根中学校	学級数や教職員数の減少による教育課題により、学校運営や生徒に与える影響が懸念されます	○高台に位置しているため、津波被害の心配はないと想定される。	○生徒数の減少が今後も見込まれ、将来的に統合は避けられない。 ○複式学級は避けるべき。	○特に意見なし
		<b>統合中学校に統合します</b>			